

No17 平成28年4月28日



北山村

編集発行
和歌山県北山村議会
TEL 0735-49-2331
FAX 0735-49-2207

議会だより



平成28年3月定例会が開催されました

3月定例会・27年度補正予算及び28年度当初予算概要 P2~4

平成28年度予算審議（主な質疑内容） P5

議員が村政を問う（一般質問に4人が登壇） P6~9

村民登場 「いつまでも君と」 北山村役場 後呂 翔 P10

議員コラム（福村尚）ほか／奥静道路3期区間ルート P11~12

平成28年3月定例会**3月10日～16日（会期7日間）に開催されました。**

本定例会には、条例規約に関する議案が21件、平成27年度一般会計及び特別会計の補正予算に関する議案が6件、平成28年度の新年度予算に関する議案が7件が提出され、慎重審議の結果、それぞれ原案どおり可決承認されました。

3月定例会の上程議案

- | | |
|--------|--|
| 選第1号 | 北山村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について |
| 承認第1号 | 専決処分の承認について（北山村税条例の一部を改正する条例） |
| 議案第1号 | 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について |
| 議案第2号 | 和歌山県と北山村の行政不服審査法第81条第1項に規定する機関に関する事務委託について |
| 議案第3号 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について |
| 議案第4号 | 北山村税条例の一部を改正する条例について |
| 議案第5号 | 北山村固定資産評価委員会条例の一部を改正する条例について |
| 議案第6号 | 北山村国民健康保険条例の一部を改正する条例について |
| 議案第7号 | 北山村消防団条例の一部を改正する条例について |
| 議案第8号 | 北山村火災予防条例を廃止する条例について |
| 議案第9号 | 北山村国民健康保険診療施設使用料及び手数料条例の全部改正について |
| 議案第10号 | 平成23年台風12号による被害への見舞金支給に関する条例の制定について |
| 議案第11号 | 北山村デジタル防災行政無線（同報系）施設整備工事請負契約について |
| 議案第12号 | 財産処分について議会の議決を求めることについて |
| 議案第13号 | 北山村生活支援ハウスの指定管理者の指定について |
| 議案第14号 | 北山村緑地等管理中央センターの指定管理者の指定について |
| 議案第15号 | 北山村緑地公園施設の指定管理者の指定について |
| 議案第16号 | 北山村七色区民会館の指定管理者の指定について |
| 議案第17号 | 竹原区民会館の指定管理者の指定について |
| 議案第18号 | 北山村大沼区民会館の指定管理者の指定について |
| 議案第19号 | 北山村下尾井区民会館の指定管理者の指定について |
| 議案第20号 | 平成27年度北山村一般会計補正予算（第4号） |
| 議案第21号 | 平成27年度北山村国民健康保険特別会計補正予算（第3号） |
| 議案第22号 | 平成27年度北山村介護保険特別会計補正予算（第3号） |
| 議案第23号 | 平成27年度北山村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） |
| 議案第24号 | 平成27年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計補正予算（第2号） |
| 議案第25号 | 平成27年度北山村地域振興事業特別会計補正予算（第3号） |
| 議案第26号 | 平成28年度北山村一般会計当初予算について |
| 議案第27号 | 平成28年度北山村国民健康保険特別会計当初予算について |
| 議案第28号 | 平成28年度北山村介護保険特別会計当初予算について |
| 議案第29号 | 平成28年度北山村後期高齢者医療特別会計当初予算について |
| 議案第30号 | 平成28年度北山村簡易水道特別会計当初予算について |
| 議案第31号 | 平成28年度北山村国民健康保険直営診療所特別会計当初予算について |
| 議案第32号 | 平成28年度北山村地域振興事業特別会計当初予算について |
| 議案第33号 | 平成27年度北山村簡易水道特別会計補正予算（第2号） |



平成27年度一般会計補正予算の概要

☆歳入歳出 **1億9276万円**を増額し、**14億2449万円** となります。

科 目	主な歳出	金 額 [千円]
総務費	情報セキュリティ強化対策事業	12,544
〃	地方創生加速化交付金事業	57,280
〃	水発交付金基金積立	6,245
民生費	災害見舞金 [平成23年台風12号]	18,000
消防費	防災行政無線デジタル化事業	132,000
教育費	国体実行委員会補助	△25,814

地方創生加速化交付金事業

地方創生一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応策として、「地方版総合戦略」に位置付けられた先駆的な取組を実践するための交付金事業です。少子高齢化が深刻な問題となっている現在、北山村の将来人口は、今後15年で300人程度、25年後には300人下回るという結果が報されております。村のあるべき将来人口の目標達成に向け、「北山村地方創生総合戦略」では、地域を担う子供を中心に考え、子育て・教育環境、コミュニティづくり、仕事、安心安全な暮らし、それらを伝える情報発信など目標を掲げ、村全体でまちづくり、魅力づくりに取り組みます。

☆主な事業	学び舎プロジェクト	17,300千円	
	通信販売システム改修	12,000千円	
	通学バス購入	5,500千円	
	高校通学バス運行委託料	3,240千円	
	お試し住宅改修工事	10,000千円	など



災害見舞金

平成23年12号台風時におけるダム放水の被害者に対して支給される見舞金です。これまで当議会では災害対策特別委員会を設置し、地域住民の安全確保を最優先にダム運用や情報伝達の改善（8項目の要求）、更には、ダム放流の洪水被害に対する補償問題など、電源開発㈱との間で協議を進めてまいりました。特に補償問題では小森ダムの影響範囲が上流何キロまで及ぼすのか？などが争点となり、北山村の調査結果が8kmであるのに対して、電源開発株㈱の主張はダム建設当時のデータ3kmとする主張は変わらず補償交渉は難航しました。最終的には電源開発㈱は、洪水の痕跡調査、ダム建設時の設計洪水量や将来的な貯水池の堆砂など想定し、ダムの影響範囲を見直すものと結論を示し、新たな測量調査を進める中で、ダム用地の追加買収が決定されました。

ダムの影響範囲については旧小学校（土地・建物）等の公共用地が対象となり、補償交渉の末、村にとって好条件での補償費・移転撤去費等が支払われることになりました。今回の一連の結果を受け、既に被災から4年半が経過しましたが、村では補償金の一部を充て、ダム放水による被害に遭われた方へ災害見舞金を支給することが決定されました。

支給対象者は、当時、北山村民であった方々で、支給対象は、住家・事務所・作業所の床上・床下浸水、倉庫・車庫等の浸水被害、田・畑の冠水、車等の浸水等で、被害物の対象ごとに定められた額が見舞金として支給されます。



<災害対策特別委員会報告>

平成28年度一般会計予算の概要

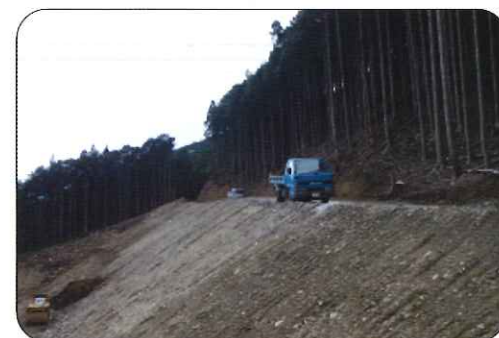
平成28年度 北山村一般会計予算 総額12億9,123万円(前年度比 21%増)

平成28年度一般会計予算は、厳しい財政運営の中で、地方創生や一億総活躍社会の実現など、和歌山県の新政策など基本とした、社会保障の充実、防災減災対策の充実、国土強靱化対策の充実など、国や県の補助金等を積極的に活用した事業が行われます。また、住民生活の安全安心の向上、医療福祉の向上、少子高齢化対策に対応した子育て支援、住民生活基盤の整備など必要な施策も講じられています。

予算科目	主な内容	金額(千円)
総務費	公会計対応業務委託料	5,260
	旧小学校等撤去工事	84,683
	参議院選挙・村長選挙関係費	4,971
	ふるさと納税謝礼	15,000
	むらづくり寄付金積立	12,000
	空家改修補助金	2,000
民生費	社会福祉協議会補助金	8,453
	高齢者福祉センター委託料	32,305
	保育所運営費	16,636
衛生費	集団検診予防接種等委託料	2,628
	ごみ収集・ゴミ処理委託料	15,623
	汚泥処理センター建設負担金	19,838
農林水産業費	地籍測量委託料	17,500
	林道大谷平田線調査測量委託	8,000
	林道出谷線開設工事	33,000
	林道大谷平田線開設工費	76,800
土木費	村営住宅建設工事	30,000
	林道四の川線防災対策	32,000
商工費	温泉施設改修工事	19,500
	プロパンガス保管庫建設	3,500
消防費	消防・救急業務委託料	25,485
教育費	給食室新築工事	41,960
	小中合同給食費補助	1,154



旧小学校等撤去工事



林道大谷平田線開設



給食室新築工事

平成28年度予算審議【主な質疑内容】

一般別会計

問 軽自動車税について、他府県ナンバーの軽自動車の登録台数は把握しているか？北山村に登録してもらい地元で税金を納めてもらうよう周知が大切である。広報などでこのような取り組みは行っているのか？

回答 他府県ナンバーの車両の台数は把握していないが、これまでも軽自動車の登録は広報等でお願いしている。次回発行の広報誌でも税改正の記事を掲載するので、合わせて村民へPRしたい。

問 名義変更に係る費用を村で負担してあげるとか方法を考えてみては？一回、登録してもらえば生涯、村に税金が入ってくるのでは？

回答 名義変更は強制はできない。公的資金を入れての名義変更には議論がある。あくまでも、個

人としてきちつと対応してほしいと思う。

問 居宅介護福祉用具購入費、介護予防福祉用具購入費、そして介護予防住宅改修費とは？

回答 風呂の椅子や手すりなどの介護用品の購入に対するものであり、住宅改修費では、要支援の方の住宅改修にかかった費用、手すりとか段差の解消などが対象となる。

後期高齢特別会計

問 一日人間ドック、脳ドック助成金、この制度は非常に良い。パンフレットなどで資料等を配付していただきたい。

回答 これら事業は、新年度の広報に掲載してもらおうような話を進めている。

簡易水道特別会計

問 七色・下尾井の配水池草刈6万5,000円の子算であるが、きちつとした見積もりを行って計上しているのか。草刈の現場を見るかぎり短時間で済む作業である。親方日の丸のような予算を立ててもらったら困る。

回答 雇用保険などきちつとした条件で北山振興(株)に委託している。昔のように近所の人を雇用するわけにはいかない。

地域振興特別会計

問 じゃばら農園と果汁の委託料の根拠となる資料を提出してほしい。

また、観光センターなどのパート職員の、給料体系はどのような基準となっているのか？職員の再雇用の件もあり、基準とされているものを提出していただきたい。

回答 提出します。

問 検便検査料は、おくとる温泉施設の衛生管理に携わる人だけのものなのか。

回答 温泉施設に携わる者の検査料以外に、じゃばら工場に關しても、大腸菌の検査と行っている。イベント催事などで、大手の百貨店とか行く場合についても検便の検査を提出しなければならぬので、全員が検査を行っている。



防犯対策事業について

葛城 健也



平成23年以降、急傾斜事業が進められているが、まだ残されている危険箇所がある。東光寺横の谷の砂防堰堤、また東光寺横の谷から上側に向かつての佐古さん宅ぐらゐまでの急傾斜事業を要望しているが、これらの事業実施に向けた進捗状況を確認したい。県がどのように対処してくれるのか？

〔質問〕 急傾斜事業は大沼地区、砂防堰堤事業では七色の観音様、また大沼の役場の横など事業が進んでいるが、まだまだ村内には急傾斜・砂防堰堤事業をしながらはならない箇所があると考えらる。

竹原地区について、平成23年、台風12号から5年が経過しようとしているが、台風12号の時は、竹原の避難所（区民会館）裏の山が崩落し、谷に土砂や木が流れ、大変怖い思いをした記憶が未だ鮮明に残っている。また、同地区では、裏山からの雨水も多く、避難路が雨水で、避難するのが困難なぐらいな状況であった。

〔回答〕 急傾斜事業の指定であるが、まず竹原東光寺の横の谷から、避難所の区民会館、尾中靖さん宅までは地域防災計画に記載されており、指定が可能である。それから竹原上の佐古さん宅までは、住宅件数が7世帯で、指定を受けるための10世帯の条件を満たしていない。

国道169号線を避難路として利用する場合は、指定が可能であり、地域防災計画の見直しなど検討を進めている。東光寺の横の谷の砂防堰堤は、今年から県に要望したい。（事業課長）

〔質問〕 下尾井地区の見福寺横の谷であるが、片側の方は砂防堰堤があるが、西垣内・中西さん宅側は住民が反対しできなかった話を聞いている。

〔質問〕 最近では、防犯カメラは犯罪の抑止効果と犯罪発生時における証拠映像として、さまざまな場所が設置されている。一方で、防犯カメラ設置にはプライバシーへの配慮や、録画、映像管理が必要である。村の公共施設等への防犯カメラの設置を考えたかどうか？

〔回答〕 見福寺横の谷については、要望等いただいたならば、地権者と相談し進めていきたい。落石があつた箇所の下尾井地区下側の裏山については、平成28年度で、幅約48メートル、高さ約1.2メートル程のフェンス設置を計画している。（事業課長）

〔回答〕 平成28年度から「きのくに防犯カメラ設置事業」の補助金制度が創設され、補助金について事業費の2分の1となっている。この制度を積極的に利用して、公園など必要な箇所への設置を検討したい。



防災・救急の取り組みについて

久保 隆俊



らうことになる。

②各地の防災マップの配布はいつなのか？
防災保存食の期限は？

職員の件は、熊野川出張所に、現在10名であるが、1名を増員するということである。また、救急車の増車計画については今のところないが、今後、状況を見ながら検討をしていくということになっている。

③熊野川消防出張所からの所要時間は25分〜30分と想定しているが、村内の患者搬送体制について従来との相違は？

②防災マップは3月末に完成し、印刷ができ次第、全村民に配付を考えている。

患者から搬送先病院の指定があった場合は？

保存食の食料品については平成29年12月が賞味期限となっており、29年には全部入れ替えが必要となってくる。

④救急隊員が到着するまでに患者の既往歴の指示は？

③従来の救急体制との違いは、救急要請は役場でなく119に電話していただくこと。救急車には救急救命士が同乗しており搬送先の医療機関との連携が密になる。仮に患者から病院の指定があった場合、既往歴なども考慮されるが、基本的には受け入れ可能な病院に搬送することになる。

平成28年4月から救急搬送や火災で新宮市消防署熊野川消防出張所の救急車や消防車が出動することになる。村民への周知徹底のため今後の防災救急の取り組みについて伺いたい。

「質問」

「回答」

①委託料は年間約2,500万円を新宮市に支払う。現時点で出張所の職員は10名、消防車は1台での対応と聞いている。重複搬送の事態で優先順位は？

広域化向けの隊員の拡充も検討されるが、消防車の増車はどうなのか？

①重複搬送の事態での優先順位は、あくまでも電話が先に入った方が優先。仮に、熊野川出張所の救急車1台が出動中の場合は、新たに新宮市が熊野市との相互応援協定を結んでおり、紀和分署からの出動となる。また紀和分署も出動中の場合には本署或いは熊野市消防から来ても

④患者の既往歴の指示であるが、レスキューポットを全世帯に配

布する。氏名年齢など基本情報や緊急連絡先、既往歴、現在服用している薬などを入れ、救急隊員が来たときに患者の内容がすぐにわかる救急情報として活用させたい。

「総務課長」



※村道市老谷線で発生したバイク事故
新宮消防より救急車が到着が3名の
隊員が救急処置を行う。

北山川観光筏下りを日本遺産に指定に要望

前岡 武津雄



権現山（神倉山）、熊野古道、速玉大社など、この他に9件ある。

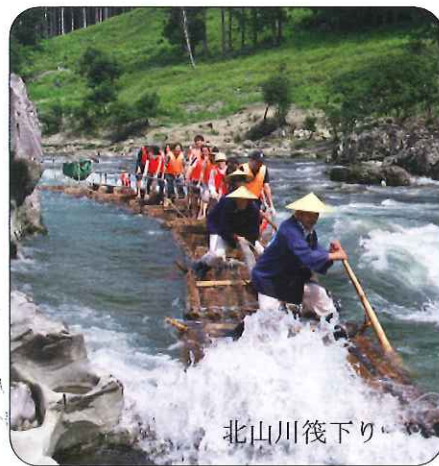
「質問」日本遺産の申請認定の要件としては、北山村単独の地域型と、新宮市との連名で申請するシリアル型がある。村単独の地域型は、世界文化遺産暫定一覧表記載候補案件の構成資産を有する市町村であることなど、条件が厳しく困難。一方のシリアル型は、北山村と新宮市とのストーリー展開が重要な要件となる。地域にて継がれている有形無形の文化財が対象となり国指定の文化財があることなど大きな要件である。北山川筏流しは平成26年2月に無形文化財に登録されており、新宮市には国指定が、浮島の森、新宮城跡、

北山村と新宮市は互いに瀬峡でつながっており、昔からの筏流し、林業など歴史的にも深い結びつきがある。新宮市との日本遺産を進めていく中で観光筏と瀬峡、熊野古道といったつながりを深め日本遺産に指定されたら互いの地域の発展にも繋がる。今後どのようなストーリーを作っていくのか。昨年12月定例会で村長から群馬県の4市町村が申請した「かかあ天下・群馬の絹物語」など、ユニークな事例紹介があったが、東京オリンピック開催の前年3年間に早く申請してほしい。

「回答」日本遺産の登録に向け、新宮市と協議をして進めていきたい。基本的には筏下りそのものがあるいろいろな歴史的な文化等々あり、日本ユネスコのプロジェクト、

クト、未来遺産も含めて同時進行という形で検討していきたい。担当課は観光産業課であるが、場合によって教育委員会となることもある。

(村長)



北山川筏下り

●観光筏下りと瀬峡ジェット船のセットプラン

「質問」奥瀬道路Ⅱ区間の開通によりジェット船志古乗り場まで近くなった。昨年12月定例会でも提案しているが、観光筏下りと瀬峡ジェット船のセットでお客さんを募る方法であるが、セット料金を少し下げた乗船プランを作ることについて、いつ頃からこのプランを実施していくのか伺いたい。

「回答」北山村は、旅行業の登録が無いのでセットプランなど企画ができない。筏下り乗船後、田戸ジェット船乗り場への無料の送迎はしており、旅行業法に違反しない範囲で行っているのが現状である。

近年、熊野古道世界遺産へのお客さんが増えており、同プランも良いが、逆に熊野交通側にもある。熊野古道で歩いたお客さんを志古ジェット船で田戸まで来てもらい、その後、観光筏下りに乗船してもらうというパターンも検討したい。

「観光産業課長」



瀬峡ジェット船

活力ある村づくり その2

福村 尚



道路標識について

「質問」国道169号（奥瀬道路）北山村の道路標識について、案内表示が分かり難い箇所がある。例えば、小松の三叉路や玉置神社へ上がる分岐点である。また、熊野川九重地区から小松地区間はトンネルも多く、ドライバーの目線にとって表示がわからなくなることもあると聞いている。奥瀬道路開通によって交通量が増し、他府県からの観光客の中には高齢者ドライバーも多い。高齢者の視点で分かり易い道路標識の見直し点検を要望したい。また、前回12月定例会で要望した玉置口橋梁等への温度計設置はどうなっているのか？

「回答」和歌山県に確認し、北山村から奥瀬道路にかけて、小松トンネルの入口手前と熊野川町九重トンネル出口の2カ所に今年度中に設置する予定だと聞いている。（※設置済み）

ジャバラ研究所の設立は？

「質問」ジャバラは、アルツハイマーやパーキンソンの認知症などに効くことが言われている。前回、大学等での研究を提案しているがその後どうなったのか？ちなみにグレープフルーツの成分は集中力を高め、脳の活性化によく効くという口コミから受験生の間で大変な売れ行きである。ちよつとしたアイデアでもヒットする。是非、ジャバラと認知症改善の関係について、調査研究を進めていただきたい。今後、ジャバラの生産量を高めるためにも、例えば、ジャバラの研究所の設立など実現できないのか？

「回答」ジャバラは、今、いろいろな効能を含めてたくさんの議論がされている。

まずジャバラは北山村の原種原木であり、きちつと守っていただくことが大切。差別化という意味ではジャバラのDNA鑑定や県農業試験所で行っている交配試験など、ジャバラの原種原木を守る観点からジャバラ戦略も含めて検討を進めていくことは有意義なことだと考えている。

役場職員採用について

「村長」

「質問」新規職員採用であるが、これまで村長の話では、今年は役場退職者3名の再雇用者で対応する方針でなかったのか。

また今年から救急消防業務を新宮市にお願いすることによって職員1名分が軽減される。募集要綱で若干名にしておりて何故3名の採用なのか？

職員募集する際は議員に電話通知し、採用が決定されても正式な発表が何一つ議会に知らされていかない。どういうことか？

現在村の救急出動件数は年間

20件余りで、それに対し救急業務委託料に二千五百万円も必要となる。例えば、高校卒採用を毎年7人ほど雇う方が村の活性化につながるのではないか

「回答」再雇用は任期が限られ職員をきちつと補充し次の体制を取っていくということは大事なこと。若干名というのは状況を見て判断するので人数が変わってくる。今後の人事異動はそういうバランスを見た上で職員の配属を行いたい。消防委託料に二千五百万円という話であるが、前々から議論しているように常備消防では一億円超すお金が必要となる。それを広域化消防することによってきちつとした体制ができる。そういうことを含めてた職員採用である。施政方針の中で書いていなかったことについては陳謝する。

「村長」



議員コラム「参拝」

福村尚



今年4月10日(日曜日)天気快晴、京都市南部、飛鳥時代から有名な地名「六地藏」、「中書島」等があります。その六地藏駅から京阪電車に乗り中書島駅で京阪本線に乗り換え、八幡駅で下車しました。そこから男山ケーブルへ乗り岩清水針八幡宮にお参りしました。

この八幡宮は平安時代の初め清和天皇(八百五十九年)京都太安寺の僧、行教和尚は

「吾れ都近き男山の峰に移座して国家鎮護せん」と男山の峯に御奉安申し上げたのは当八幡宮の起源と言われております。私も北山村の安泰と村民の幸福、永久の幸せをお願いしてお参りしました。



編集後記

すでに皆様はご存知かと思いますが、奥漕道路2期完成に引続き、早くも奥漕道路3期の新規事業化が決定されました。半世紀にわたる村の悲願がついに達成されます。近畿自動車道紀勢線など未だ事業化されていない区間もある中で大変な出来事だと思います。奥漕道路3期区間には幾つかルートがありましたが、防災性や走行性などを検証し、最も優れたルート(小松地区〜小森地区〜下尾井地区間)の延長3.4kmが採択されました。国の直轄事業として総事業費は約155億円と公表されています。その費用の3分の1を和歌山県と三重県で負担することになります。道路の大半が三重県側を通るルートであり、道路延長の割合に応じた費用額が決定されることから、当然三重県側の負担が大きく、経済的効果など受益者負担が大きな課題となっていました。両県での協議の結果、和歌山県側が応分の負担することと、奥漕3期の事業化に至ったと言われています。

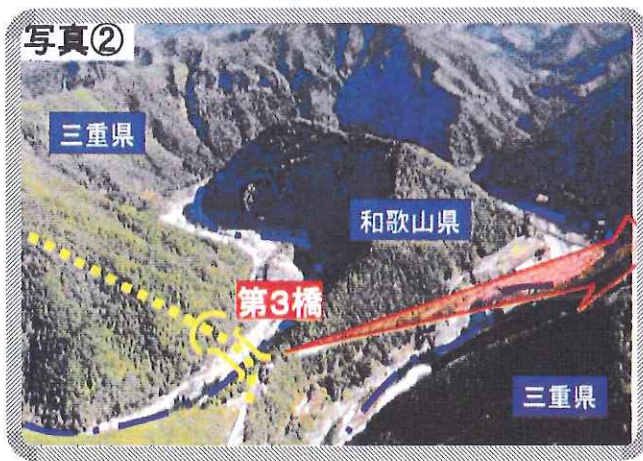
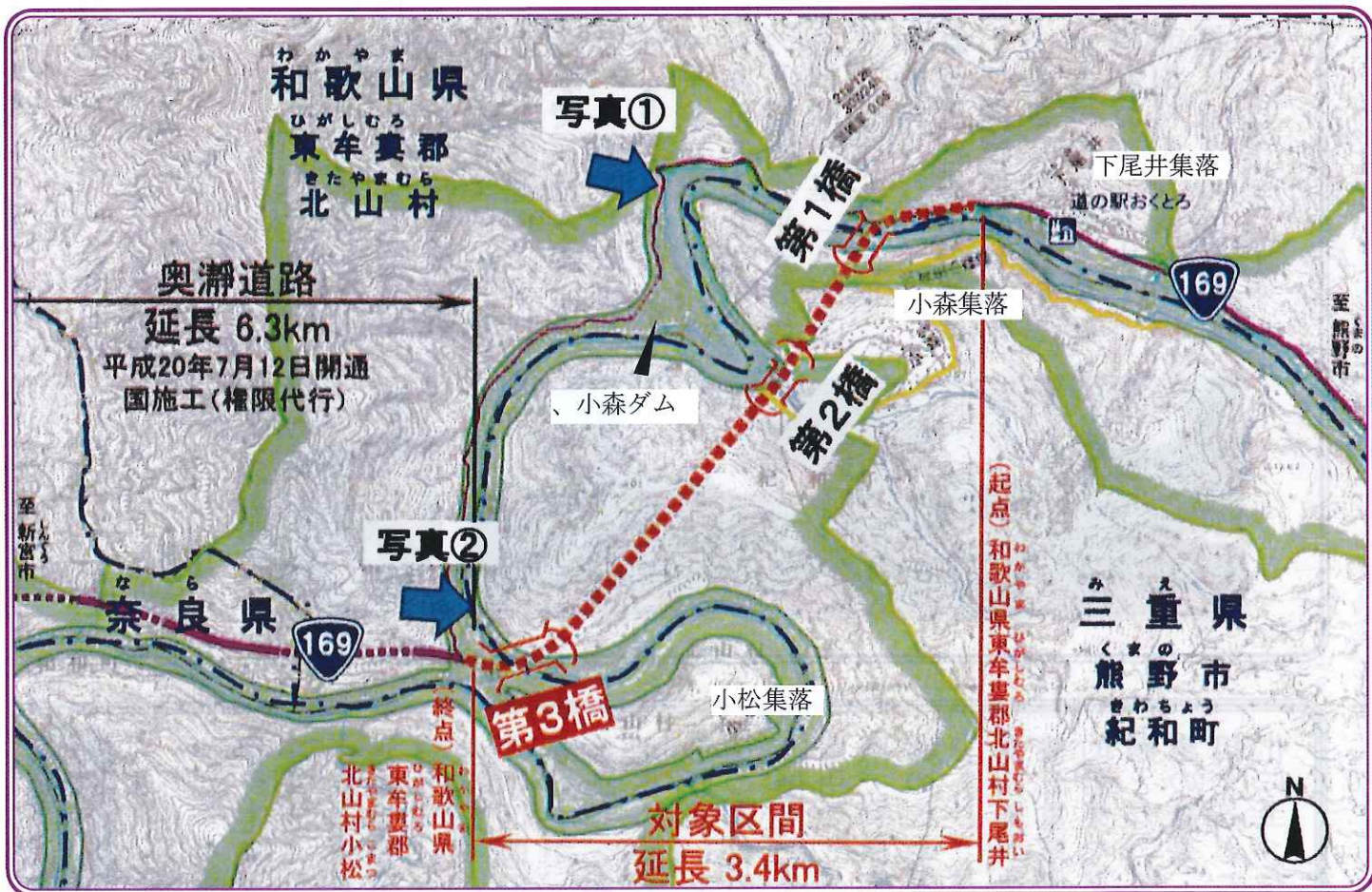
平成28年度から新宮市との救急消防連携も行われます。奥漕3期区間の開通によって、大規模災害や救急医療に対し安全性がぐっと良くなります。観光筏やラフティングなど観光振興、じゃばらなど地場産業の活性化など、地方創生を進める上でも大変重要な道です。「全ての道は北山村に通じる。」仁坂知事の言葉ではないですが、北山村がこれから大きく発展することは確かなことです。

今回の議会だより表紙の懸垂幕は、ご尽力を頂きました和歌山県・三重県などの関係機関、国土交通省や地元国会議員の先生方への「感謝の意」を伝えるものです。奥漕道路3期の事業化が伝えられ急ぎよ掲げたもので、役場庁舎や村内3箇所ある歓迎看板へ設置しており、また、今後記念イベントも企画しているようです。地域の機運を高め、一刻も早い完成を目指して、積極的な要望活動を続けて参りますので、皆様のご支援とご協力よろしく願います。

※次ページの奥漕3期区間ルート照

広報委員 葛城健也

国道169号 奥漣道路3期区間ルート



主項目	奥漣道路3期区間
計画概要	災害に対する強靱な道路、吉野熊野国立公園内の自然改変を最小限にするなど、大半が橋やトンネルを占め、曲線の少ない最短ルートです。
計画延長	3.4 km
構造物	橋梁3橋 (470m) トンネル2本 (2060m)
事業費	155億円

